

2020年8月期 中間決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年4月27日

上場会社名 株式会社マルク 上場取引所 東
 コード番号 7056 URL <http://maruc-group.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 北野 順哉
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 片山 正人 (TEL) 089(911)1047
 中間発行者情報提出予定日 2020年5月29日 配当支払開始予定日 ー
 中間決算補足説明資料作成の有無 : 無
 中間決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年8月期中間期の連結業績 (2019年9月1日~2020年2月29日)

(1) 連結経営成績

(%表示は、対前年同期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年8月期中間期	162	15.0	3	193.8	11	17.0	7	2.0
2019年8月期中間期	141	—	1	—	10	—	7	—

(注) 中間包括利益 2020年8月期中間期 7百万円 (2.0%) 2019年8月期中間期 7百万円 (-%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2020年8月期中間期	13.12	—
2019年8月期中間期	12.86	—

- (注) 1. 当社は、2018年8月期中間期においては、中間連結財務諸表を作成していないため2019年8月期中間期の対前年同期増減率を記載しておりません。
 2. 当社は、2019年1月7日付で、普通株式1株につき300株の割合で株式分割を行っております。期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり中間純利益を算定しております。
 3. 潜在株式調整後1株当たり中間純利益は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年8月期中間期	118	34	29.0
2019年8月期	111	26	24.0

(参考) 自己資本 2020年8月期中間期 34百万円 2019年8月期 26百万円

2. 配当の状況

	年間配当金		
	中間期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭
2019年8月期	0.00	0.00	0.00
2020年8月期	0.00		
2020年8月期(予想)		0.00	0.00

3. 2020年8月期の連結業績予想 (2019年9月1日~2020年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	342	13.3	△6	—	0	△97.6	0	△97.4	0.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当中間連結会計期間における重要な子会社の異動
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 一社 、除外 1社 まるく株式会社
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年8月期中間期	600,000株	2019年8月期	600,000株
② 期末自己株式数	2020年8月期中間期	一株	2019年8月期	一株
③ 期中平均株式数	2020年8月期中間期	600,000株	2019年8月期中間期	600,000株

(注) 当社は、2019年1月7日付で、普通株式1株につき300株の割合で株式分割を行っております。

このため、前中間連結会計期間、前連結会計年度にかかる株式数につきましては、前連結会計年度の期首に株式分割が行われたものと仮定して算定しております。

※中間決算短信は公認会計士又は監査法人の中間監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報、および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、中間決算短信（添付資料）3ページの「1. 当中間連結決算に関する定性的情報（3）業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間連結決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 中間連結会計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理及び簡便な会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結株主資本等変動計算書	7
(4) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(5) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(表示方法の変更)	9
(セグメント情報)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当中間連結決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当中間連結会計期間における我が国の経済は、堅調な雇用・所得情勢などを受け緩やかに回復しておりますが、失業率の低下等により雇用環境は改善する一方、賃金の伸びが低水準な状況下で、社会保障制度などに対する将来不安も根強く、消費税増税による影響も懸念され、消費の先行きは依然として不透明な状況が続いています。

このような環境のもと、当社グループは就労継続支援A型事業を中心に、既存事業所での利用促進等の活動を進めるとともに、放課後等デイサービス事業の新規事業所として「マルクスコラ余戸教室」を2019年6月に開設する等、将来に向けたサービス提供範囲の拡大を実施してまいりました。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は162,854千円（対前年同期比15.0%増）、営業利益は3,090千円（対前年同期比193.8%増）、経常利益は11,799千円（17.0%増）、親会社株主に帰属する中間純利益は7,874千円（対前年同期比2.0%増）となりました。

なお、当社グループは、障がい福祉サービス事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当中間連結会計期間末における流動資産の残高は、100,344千円（前連結会計年度末は、94,519千円）となり5,825千円増加しました。現金及び預金が6,833千円増加したことが主な要因であります。

(固定資産)

当中間連結会計期間末における固定資産の残高は、18,543千円（前連結会計年度末は、16,495千円）となり2,048千円増加しました。繰延税金資産が637千円増加したことが主な要因であります。

(流動負債)

当中間連結会計期間末における流動負債の残高は、50,713千円（前連結会計年度末は56,899千円）となり6,186千円減少しました。未払金が7,332千円減少したことが主な要因であります。

(固定負債)

当中間連結会計期間末における固定負債の残高は、33,669千円（前連結会計年度末は、27,484千円）となり6,185千円増加しました。長期借入金が6,185千円増加したことが要因であります。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産の残高は、34,505千円（前連結会計年度末は、26,631千円）となり7,874千円増加しました。親会社株主に帰属する中間純利益7,874千円を計上したことによる利益剰余金の増加が要因であります。

② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」といいます。）の残高は、前連結会計年度末に比べて6,232千円増加し、44,873千円となりました。各キャッシュ・フローの状況と主な要因は以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、未払金の減少額7,331千円等を計上したものの、税金等調整前中間純利益11,799千円、未払消費税等の増加額1,828千円等を計上したことにより、4,443千円のプラス（前年同期は9,726千円のプラス）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出1,511千円等により、2,537千円のマイナス（前年同期は1,235千円のプラス）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入れによる収入 10,000 千円、長期借入金の返済による支出 5,673 千円により、4,327 千円のプラス（前年同期は 2,590 千円のマイナス）となりました。

(3)業績予想に関する定性的情報

2020年8月期の通期の業績予想につきましては、2019年10月31日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

（1）中間連結会計期間における重要な子会社の異動

（主要な関係会社の異動）

連結除外：まるく株式会社

当中間連結会計期間において、まるく株式会社（連結子会社）は、2019年12月9日付で清算し、連結子会社でなくなりました。

（2）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理及び簡便な会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3【中間連結財務諸表及び主な注記】

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年8月31日)	当中間連結会計期間 (2020年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	38,940	45,773
売掛金	52,429	53,412
その他	3,149	1,157
流動資産合計	94,519	100,344
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	6,235	6,466
その他（純額）	382	1,121
有形固定資産合計	6,618	7,587
投資その他の資産		
長期前払費用	3,651	3,324
繰延税金資産	1,884	2,521
その他	4,340	5,110
投資その他の資産合計	9,877	10,955
固定資産合計	16,495	18,543
資産合計	111,014	118,888

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2019年8月31日)	当中間連結会計期間 (2020年2月29日)
負債の部		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	14,856	12,998
未払金	24,867	17,535
未払費用	15,878	14,573
未払法人税等	927	3,383
未払消費税等	-	1,828
その他	369	395
流動負債合計	56,899	50,713
固定負債		
長期借入金	27,484	33,669
固定負債合計	27,484	33,669
負債合計	84,383	84,382
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,000	20,000
利益剰余金	6,631	14,505
株主資本合計	26,631	34,505
純資産合計	26,631	34,505
負債純資産合計	111,014	118,888

（2）【中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書】

中間連結損益計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2018年9月1日 至 2019年2月28日）	当中間連結会計期間 （自 2019年9月1日 至 2020年2月29日）
売上高	141,613	162,854
売上原価	91,128	105,140
売上総利益	50,484	57,713
販売費及び一般管理費	49,432	54,623
営業利益	1,051	3,090
営業外収益		
受取利息	0	13
助成金収入	20,462	8,648
その他	218	376
営業外収益合計	20,681	9,037
営業外費用		
支払利息	234	268
上場関連費用	11,000	-
雑損失	417	59
営業外費用合計	11,651	328
経常利益	10,081	11,799
特別利益		
保険解約益	1,661	-
特別利益合計	1,661	-
税金等調整前中間純利益	11,743	11,799
法人税、住民税及び事業税	797	4,562
法人税等調整額	3,231	△636
法人税等合計	4,029	3,925
中間純利益	7,714	7,874
親会社株主に帰属する中間純利益	7,714	7,874

中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2018年9月1日 至 2019年2月28日)	当中間連結会計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年2月29日)
中間純利益	7,714	7,874
中間包括利益 (内訳)	7,714	7,874
親会社株主に係る中間包括利益	7,714	7,874

(3) 中間連結株主資本等変動計算書

前中間連結会計期間 (自 2018年9月1日 至 2019年2月28日)

(単位：千円)

	株主資本			純資産 合計
	資本金	利益 剰余金	株主資本 合計	
当期首残高	20,000	△4,167	15,832	15,832
当中間期変動額				
親会社株主に帰属する中間 純利益		7,714	7,714	7,714
当中間期変動額合計	-	7,714	7,714	7,714
当中間期末残高	20,000	3,546	23,546	23,546

当中間連結会計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年2月29日)

(単位：千円)

	株主資本			純資産 合計
	資本金	利益 剰余金	株主資本 合計	
当期首残高	20,000	6,631	26,631	26,631
当中間期変動額				
親会社株主に帰属する中間 純利益		7,874	7,874	7,874
当中間期変動額合計	-	7,874	7,874	7,874
当中間期末残高	20,000	14,505	34,505	34,505

(4) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2018年9月1日 至 2019年2月28日)	当中間連結会計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年2月29日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	11,743	11,799
減価償却費	735	541
保険解約益	△1,661	-
受取利息	△0	△13
支払利息	234	268
売上債権の増減額 (△は増加)	749	△983
長期前払費用の増減額 (△は増加)	440	327
未払金の増減額 (△は減少)	3,793	△7,331
未払費用の増減額 (△は減少)	△576	△1,304
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△5,640	1,828
その他	517	1,674
小計	10,335	6,806
利息の受取額	0	13
利息の支払額	△234	△268
法人税等の支払額	△374	△2,107
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,726	4,443
投資活動によるキャッシュ・フロー		
生命保険解約による収入	1,661	-
定期預金の預入による支出	-	△600
有形固定資産の取得による支出	-	△1,511
その他	△426	△426
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,235	△2,537
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	5,000	10,000
長期借入金の返済による支出	△7,590	△5,673
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,590	4,327
現金及び現金同等物の増加額 (△は減少)	8,371	6,232
現金及び現金同等物の期首残高	35,465	38,640
現金及び現金同等物の中間期末残高	43,837	44,873

(5) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

当社グループの事業セグメントは、障がい福祉サービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

第三者割当による新株式発行

2020年4月24日開催の当社臨時株主総会において、2020年4月27日を払込期日として普通株式50,000株を第三者割当増資の方法によって発行し、2020年4月27日に払込手続を完了いたしました。その概要は次のとおりであります。

1. 新株式発行の内容

(1) 払込期日	2020年4月27日	
(2) 発行株式数	普通株式 50,000株	
(3) 発行価格	発行価格	1株につき 1,450円
	発行価格の総額	72,500,000円
(4) 資本組入額	資本組入額	1株につき 725円
	資本組入額の総額	36,250,000円
(5) 募集又は割当方法	第三者割当の方法による。	
(6) 割当先及び株式数	割当先	株式会社 IBJ
	株式数	50,000株
(7) 資金の用途	新拠点開設及び運転資金	

2. 本第三者割当増資による資本金の額及び発行済株式総数の推移

(1) 本第三者割当増資による資本金の額の推移

増資前の資本金の額 20,000,000円

増加する資本金の額 36,250,000円

増加後の資本金の額 56,250,000円

(2) 本第三者割当増資による発行済株式総数の推移

増資前の発行済株式総数 600,000株

増加する株式数 50,000株

増資後の発行済株式総数 650,000株